

# 中小企業動向調査

この調査は富山県内企業362社を対象に実施し、254社より回答があり、その結果をまとめたものである。

企業の調査資料として、平成26年4月～6月の実績、平成26年7月～9月の見込み、平成26年10月～12月の先行き見通しを集約した概要である。なお、季節調整は行っていない。

調査時期：平成26年6月下旬

	調査対象企業数	有効回答企業数	有効回答率
製 造 業	161	121	75.2%
非 製 造 業	201	133	66.2%
計	362	254	70.2%

日銀が9月5日に公表した、北陸の金融経済月報（2014年9月）によると、「北陸の景気は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響を受けつつも、穏やかに回復している。

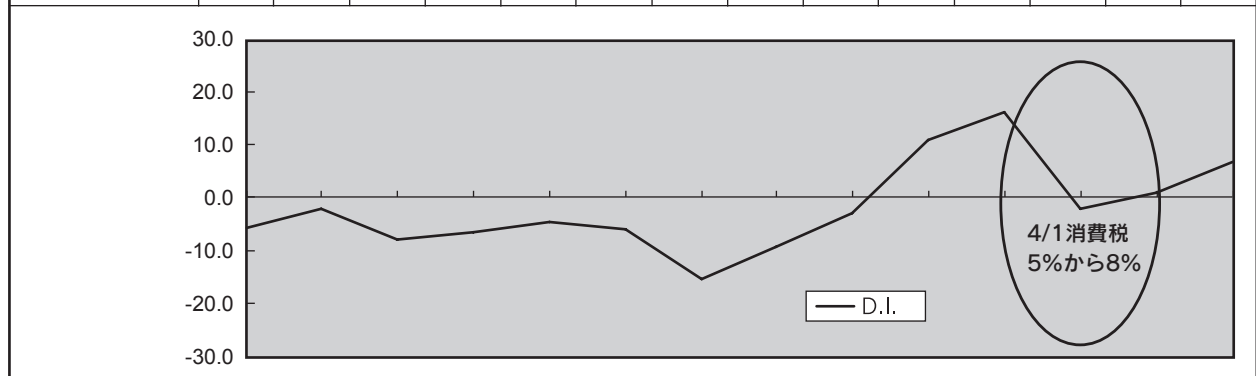
最終需要をみると、個人消費は基調として穏やかに持ち直している。また、設備投資は増加しているほか、公共投資は高水準で維持している。住宅投資は駆け込み需要の反動減がみられるものの、下げ止まりつつある。

先行きについては、穏やかな回復基調を続け、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響も次第に和らいでいくと見られる。」としている。

## I. 企業概況

企業概況の推移……（全産業）

期別 種別	（%）													
	23 年		24 年				25 年				26 年			
	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月
良 い	15.4	17.9	15.1	14.3	14.7	15.7	10.4	14.2	13.7	24.3	26.7	15.5	12.7	13.5
普 通	63.2	61.8	61.6	64.6	65.8	62.5	63.7	62.2	69.6	62.0	62.6	66.5	75.3	79.3
悪 い	21.4	20.3	23.3	21.1	19.5	21.8	25.9	23.6	16.7	13.8	10.7	17.9	12.0	7.2
D . I .	-6.0	-2.4	-8.2	-6.8	-4.8	-6.1	-15.5	-9.4	-3.1	10.5	16.0	-2.4	0.8	6.4

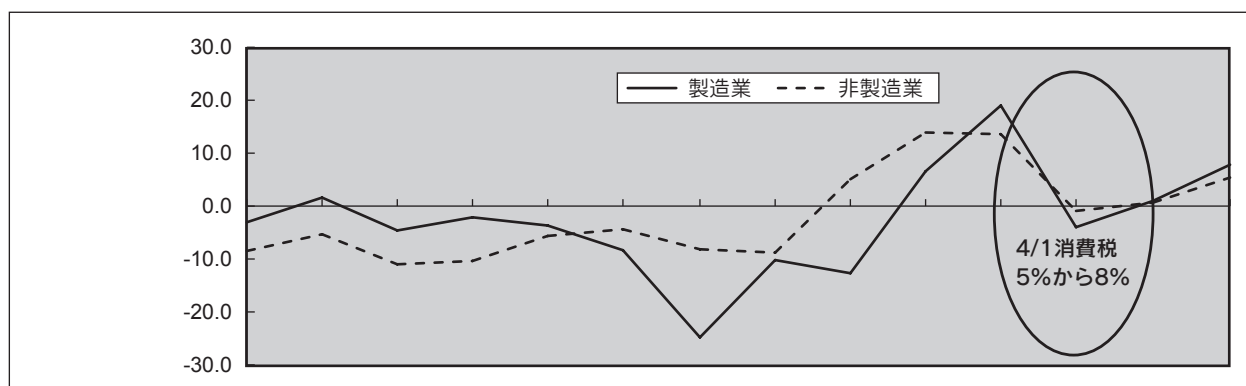


企業概況の推移……（うち製造業のみ）

期別 種別		23 年		24 年				25 年				26 年			
		7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
良	い	17.1	21.6	19.4	16.2	15.3	13.6	6.2	16.8	10.5	21.6	28.9	17.6	12.6	12.6
普	通	62.5	58.2	56.6	65.4	65.6	64.4	62.8	56.0	66.2	63.2	61.2	60.5	75.6	82.4
悪	い	20.4	20.1	24.0	18.5	19.1	22.0	31.0	27.2	23.3	15.2	9.9	21.8	11.8	5.0
D . I .		-3.3	1.5	-4.7	-2.3	-3.8	-8.5	-24.8	-10.4	-12.8	6.4	19.0	-4.2	0.8	7.6

企業概況の推移……（うち非製造業のみ）

期別 種別		23 年		24 年				25 年				26 年			
		7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
良	い	13.9	15.0	11.7	12.8	14.3	17.5	13.7	12.0	16.3	26.5	24.8	13.6	12.9	14.4
普	通	63.9	64.7	65.6	64.0	65.8	60.8	64.4	67.3	72.5	60.9	63.8	72.0	75.0	76.5
悪	い	22.3	20.4	22.7	23.2	19.9	21.7	21.9	20.7	11.3	12.6	11.3	14.4	12.1	9.1
D . I .		-8.4	-5.4	-11.0	-10.4	-5.6	-4.2	-8.2	-8.7	5.0	13.9	13.5	-0.8	0.8	5.3



(1) 富山県内の中小企業の業況を全産業で見ると、業況判断指数D.I.「良い－悪い」の26年4～6月期実績は-2.4と前期比18.4ポイント悪化した。

先行きについて、26年7～9月期のD.I.は0.8、26年10～12月期のD.I.は6.4と改善する予想となっている。

例年は、1～3月は悪化するが、4～6月は前期比改善となっている。今年は、消費税の引上げがあり、4～6月はこの影響により、悪化となったと見られる。

(2) 業況判断指数D.I.の26年4～6月期を製造業と非製造業に分けてみると、製造業は前期より23.2ポイント悪化した。非製造業は前期より14.3ポイント悪化した。先行きについてはどちらも改善予想となっている。

## II. 売上高状況

売上高状況

(%) 見込 予測

種別 \ 期別	23 年		24 年				25 年				26 年			
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
増加	33.9	36.5	30.0	33.5	26.3	28.4	22.3	30.6	32.3	43.1	53.0	29.9	23.3	24.5
横ばい	39.8	35.9	41.4	40.3	46.4	44.7	45.2	42.1	45.9	39.9	33.2	43.4	57.0	62.2
減少	26.3	27.5	28.6	26.3	27.3	26.9	32.6	27.4	21.7	17.5	13.8	26.7	19.7	13.2
D. I.	7.5	9.1	1.3	7.2	-1.0	1.5	-10.3	3.2	10.5	28.6	39.3	3.2	3.6	11.2

売上高状況（うち製造業のみ）

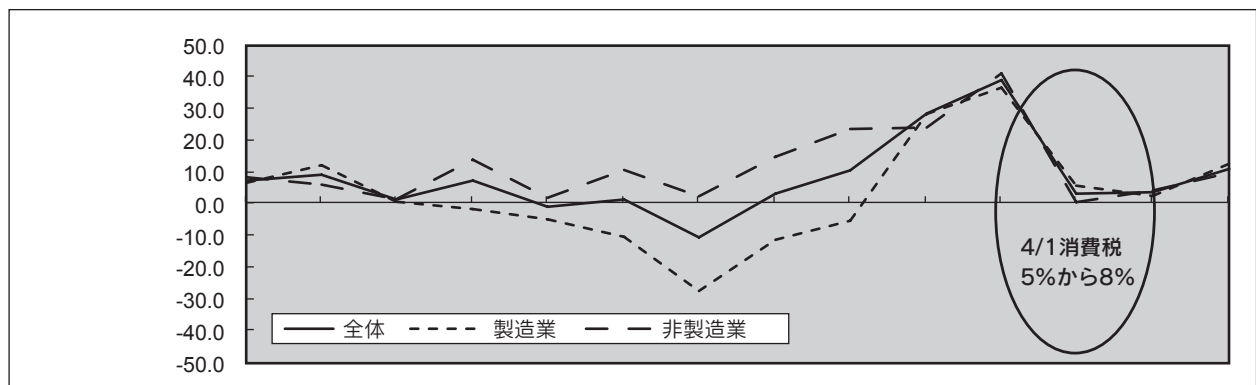
(%) 見込 予測

種別 \ 期別	23 年		24 年				25 年				26 年			
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
増加	33.6	36.2	27.9	28.0	24.4	24.5	12.3	22.8	25.3	46.0	53.3	32.2	24.0	24.0
横ばい	39.5	39.9	45.0	42.6	46.6	40.7	48.2	43.3	44.0	36.5	30.3	41.5	54.7	65.0
減少	27.0	23.9	27.1	29.4	29.0	34.8	39.5	33.8	30.6	17.5	16.4	26.3	21.4	11.1
D. I.	6.6	12.3	0.8	-1.6	-4.6	-10.2	-27.2	-11.0	-5.2	28.6	36.9	5.9	2.6	12.8

売上高状況（うち非製造業のみ）

(%) 見込 予測

種別 \ 期別	23 年		24 年				25 年				26 年			
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
増加	34.1	36.8	31.5	37.8	27.8	31.5	30.0	37.1	38.2	40.8	52.9	27.8	22.7	25.0
横ばい	40.1	32.7	38.7	38.4	46.3	47.9	42.9	41.1	47.5	42.8	35.7	45.1	59.1	59.8
減少	25.8	30.4	29.8	23.8	25.9	20.6	27.2	21.8	14.4	16.4	11.4	27.1	18.2	15.1
D. I.	8.4	6.4	1.8	14.0	1.9	11.0	2.7	15.2	23.8	24.3	41.4	0.8	4.5	9.8



- 売上高は、前年同期比較での増減について回答を受けている項目である。今回調査では、D.I.は3.2となり、前期より36.1ポイント悪化の回答となった。  
先行きについては、26年7~9月期はD.I.は3.6となり、10~12月は11.2であり、序々に改善予想である。
- 売上高状況D.I.を製造業と非製造業で分けても、どちらも悪化している。製造業については、7~9月も更に悪化見込みとなっている。しかし、10~12月には改善予想となっている。非製造業は7~9月より改善していく予想となっている。

### Ⅲ. 生産高・稼働率状況

生産高状況（製造業のみ）

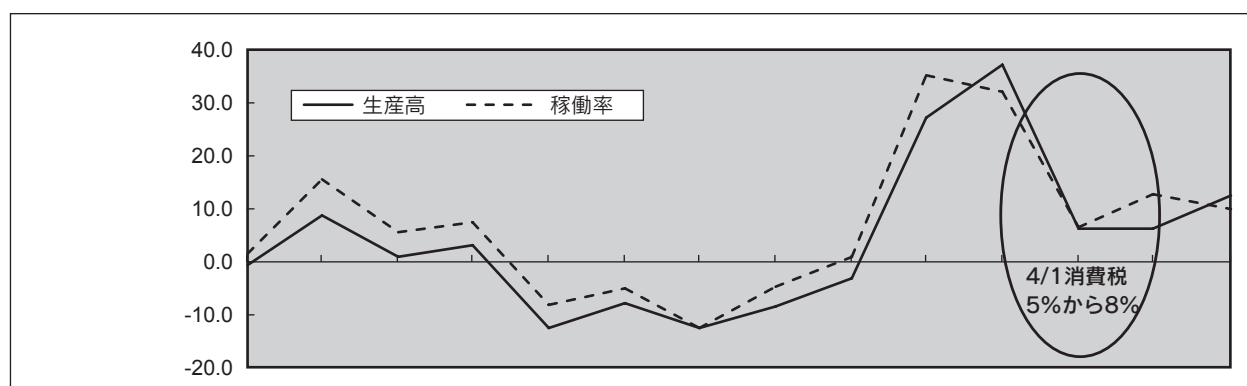
(%) 見込 予測

期別 種別	23 年		24 年				25 年				26 年			
	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月
20%以上増加	6.7	6.5	6.1	5.6	4.7	5.1	0.9	5.5	3.9	7.4	13.6	3.5	0.9	0.9
20%未満増加	21.5	28.1	22.1	25.0	17.2	20.5	19.6	17.2	19.5	33.1	38.1	27.8	23.9	22.1
横ばい状況	43.0	39.6	44.3	41.9	43.8	41.0	46.4	46.1	50.0	46.3	33.9	43.5	56.6	66.4
20%未満減少	24.8	22.3	25.2	22.6	28.1	29.1	24.1	21.9	24.2	11.6	13.6	23.5	17.7	10.6
20%以上減少	4.0	3.6	2.3	4.8	6.3	4.3	8.9	9.4	2.3	1.7	0.8	1.7	0.9	0.0
D . I .	-0.7	8.6	0.8	3.2	-12.5	-7.7	-12.5	-8.6	-3.1	27.3	37.3	6.1	6.2	12.4

稼働率（製造業のみ）

(%) 見込 予測

期別 種別	23 年		24 年				25 年				26 年			
	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月
上昇	5.6	7.4	6.4	4.9	5.7	6.1	0.9	4.7	4.0	8.6	12.9	3.6	2.7	1.8
やや上昇	20.1	29.6	21.6	25.2	13.9	10.2	17.9	16.5	20.0	33.6	33.6	25.0	25.2	20.7
横ばい	50.0	41.5	49.6	47.2	52.5	42.1	50.0	52.8	52.8	50.9	38.8	49.1	56.8	64.9
やや下降	19.4	18.5	19.2	19.5	22.1	27.2	23.2	15.7	20.0	5.2	14.7	20.5	14.4	11.7
下降	4.9	3.0	3.2	3.3	5.7	4.4	8.0	10.2	3.2	1.7	0.0	1.8	0.9	0.9
D . I .	1.4	15.6	5.6	7.3	-8.2	-5.3	-12.5	-4.7	0.8	35.3	31.9	6.3	12.6	9.9

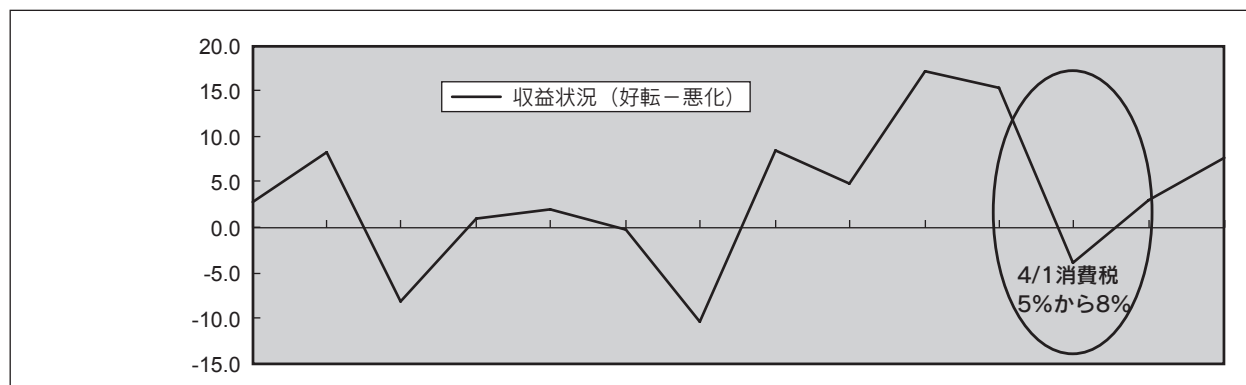


- (1) 生産高・稼働率ともに売上高と同様、前年同期比での増減について回答を受けている項目である。製造業の生産高状況D.I.は6.1となり、前期比31.2ポイント悪化した。先行きについては、今後改善していく予想となっている
- (2) 稼働率についても、前期より25.6ポイント悪化となっている。先行きについては、7～9月期は改善予想であるが、10～12月期には前期比悪化予想となった。

## IV. 収益状況

収益状況（好転－悪化）

		(%)												見込	予測	
期別 種別	23年		24年				25年				26年					
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月		
好転	24.8	26.4	17.0	19.5	19.7	20.8	15.8	25.2	19.3	28.5	29.9	14.6	14.2	12.3		
横ばい	53.0	55.3	57.7	61.6	62.2	58.1	57.9	57.9	66.1	60.1	55.3	66.8	74.3	83.0		
悪化	22.3	18.3	25.3	18.9	18.0	21.1	26.3	16.9	14.6	11.4	14.8	18.6	11.5	4.7		
D.I.	2.5	8.0	-8.3	0.7	1.7	-0.4	-10.5	8.3	4.7	17.1	15.2	-4.0	2.8	7.5		



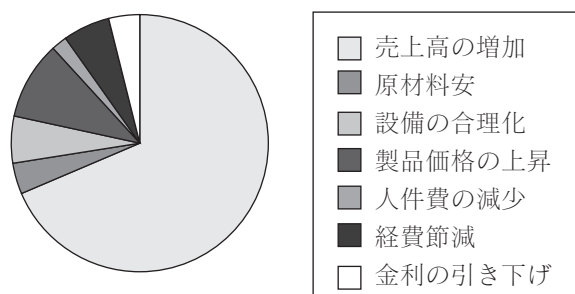
好転理由

		(%)												見込	予測	
期別 種別	23年		24年				25年				26年					
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月		
売上高の増加	76.0	73.5	66.2	67.6	64.4	70.8	61.8	64.5	72.5	82.1	83.0	68.6	73.8	71.1		
原材料安	3.0	4.1	1.5	9.9	4.1	4.6	1.8	4.3	0.0	1.1	0.0	3.9	2.4	0.0		
設備の合理化	2.0	1.0	0.0	0.0	1.4	3.1	1.8	3.2	4.3	3.2	2.3	5.9	4.8	5.3		
製品価格の上昇	2.0	2.0	2.9	2.8	2.7	3.1	5.5	4.3	5.8	2.1	0.0	9.8	4.8	7.9		
人件費の減少	3.0	3.1	4.4	2.8	6.8	0.0	7.3	4.3	4.3	4.2	2.3	2.0	4.8	2.6		
経費節減	14.0	16.3	22.1	16.9	19.2	16.9	18.2	18.3	13.0	7.4	11.4	5.9	7.1	13.2		
金利の引き下げ	0.0	0.0	2.9	0.0	1.4	1.5	3.6	1.1	0.0	0.0	1.1	3.9	2.4	0.0		

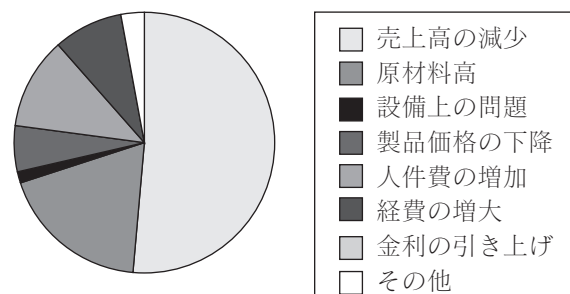
悪化理由

		(%)												見込	予測	
期別 種別	23年		24年				25年				26年					
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月		
売上高の減少	56.1	50.0	55.6	59.2	56.8	51.3	66.3	62.5	48.4	53.5	55.4	51.4	39.2	37.5		
原材料高	11.2	18.3	14.8	17.1	13.5	10.3	10.8	12.5	19.4	20.9	10.7	18.6	31.4	25.0		
設備上の問題	2.0	1.2	0.9	0.0	1.4	3.8	1.2	0.0	6.5	0.0	0.0	1.4	2.0	4.2		
製品価格の下降	9.2	11.0	8.3	6.6	14.9	11.5	4.8	7.8	4.8	7.0	8.9	5.7	7.8	8.3		
経費の増大	12.2	8.5	11.1	5.3	9.5	12.8	9.6	9.4	6.5	14.0	14.3	11.4	9.8	16.7		
人件費の増加	5.1	4.9	2.8	6.6	2.7	2.6	2.4	3.1	8.1	0.0	3.6	8.6	7.8	8.3		
金利の引き上げ	1.0	0.0	0.9	0.0	1.4	0.0	0.0	1.6	1.6	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0		
その他	3.1	6.1	5.6	5.3	0.0	7.7	4.8	3.1	4.8	4.7	7.1	2.9	0.0	0.0		

好転理由



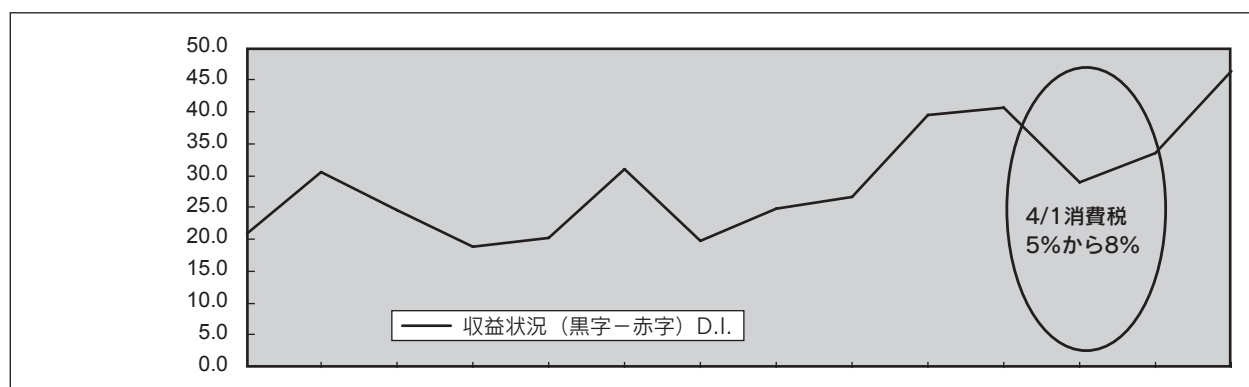
悪化理由



- (1) 収益状況「好転－悪化」D.I.は、前期比19.2ポイント悪化し、▲4.0となった。収益は、前期までは好転となっていたが、今期はマイナスポイントの回答となった。先行きについては、改善予想であり、プラスポイントとなっている。
- (2) 今期収益が好転した理由は、「売上高の増加」が68.6%で最も多く、次に「製品価格の上昇」、「設備の合理化」「経費節減」の順となっている。先行きについても理由の順位は、同様であるが「経費節減」を好転理由とするポイントが売上高増加の次の理由となっている。
- (3) 収益が悪化した理由では、「売上高の減少」とする回答が51.4%、次に「原材料高」が高い回答になっている。先行きについても、「原材料高」を理由とする回答が増加している。また、「経費の増大」も悪化理由の高い回答となっている。

収益状況（黒字－償却後赤字）

種別	期別														(%)	
	23年		24年				25年				26年				見込	予測
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月		
黒字	43.4	47.4	44.3	41.0	39.1	46.7	39.0	44.3	42.5	53.8	53.5	45.1	44.5	52.2		
収支トントン	34.2	35.9	36.0	36.9	41.9	37.7	41.7	36.3	41.8	31.8	33.7	38.6	44.5	42.0		
償却後赤字	22.5	16.8	19.7	22.1	19.0	15.6	19.3	19.4	15.8	14.4	12.8	16.3	11.0	5.7		
D . I .	20.9	30.6	24.6	19.0	20.1	31.1	19.7	24.9	26.7	39.4	40.7	28.9	33.5	46.5		



- (4) 収益状況「黒字－償却後赤字」D.I.は28.9となり、前期比11.8ポイント悪化となった。先行きについてD.I.は改善していく予想となっている。  
収益状況は、25年4～6月期より改善傾向にあったが、今期悪化となった。消費税増税の影響と考える。

## V. 製品在庫水準

製品在庫水準

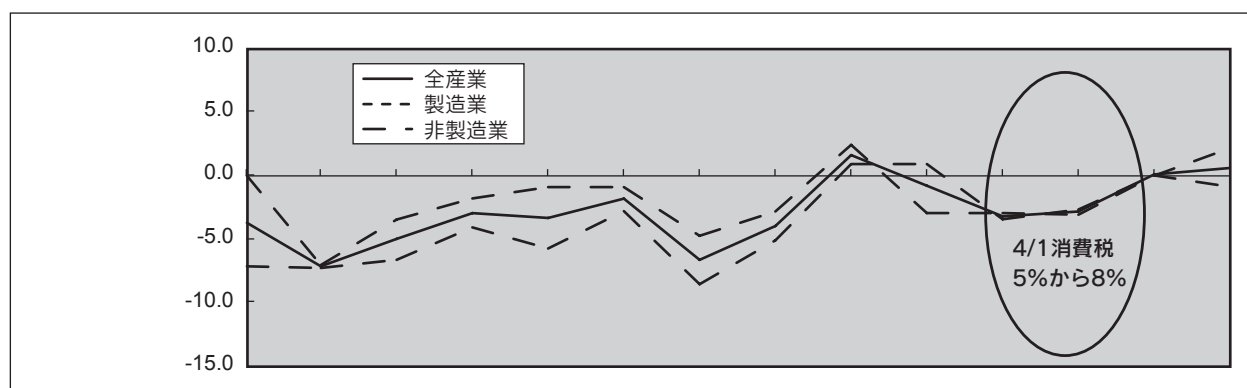
		製品在庫水準 (%)												見込	予測	
期別 種別	23年		24年				25年				26年					
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月		
不足	4.5	1.3	3.8	3.9	2.5	2.9	0.9	3.6	5.2	4.6	3.2	2.9	1.9	2.0		
適正	87.1	90.4	87.4	89.3	91.5	92.3	91.5	88.8	91.3	89.9	90.3	91.3	96.1	96.6		
過剰	8.3	8.3	8.8	6.9	5.9	4.8	7.5	7.6	3.6	5.5	6.5	5.8	1.9	1.5		
D.I.	-3.8	-7.1	-5.0	-3.0	-3.4	-1.9	-6.6	-4.0	1.6	-0.9	-3.2	-2.9	0.0	0.5		

製品在庫水準 (うち製造業のみ)

		製品在庫水準 (%)												見込	予測	
期別 種別	23年		24年				25年				26年					
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月		
不足	4.3	1.6	4.1	2.5	1.6	2.8	1.9	5.1	6.3	5.2	3.5	4.5	2.7	1.8		
適正	84.4	89.6	85.1	91.0	91.0	91.7	87.7	84.7	88.3	90.4	89.4	88.4	94.6	95.5		
過剰	11.3	8.8	10.7	6.6	7.4	5.5	10.4	10.2	5.5	4.3	7.1	7.1	2.7	2.7		
D.I.	-7.1	-7.2	-6.6	-4.1	-5.7	-2.8	-8.5	-5.1	0.8	0.9	-3.5	-2.7	0.0	-0.9		

製品在庫水準 (うち非製造業のみ)

		製品在庫水準 (%)												見込	予測	
期別 種別	23年		24年				25年				26年					
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月		
不足	4.9	0.9	3.4	5.4	3.5	3.0	0.0	1.9	4.0	3.9	2.9	1.0	1.0	2.1		
適正	90.2	91.3	89.7	87.4	92.1	93.0	95.3	93.4	94.4	89.2	91.3	94.8	97.9	97.9		
過剰	4.9	7.8	6.8	7.2	4.4	4.0	4.7	4.7	1.6	6.9	5.8	4.2	1.0	0.0		
D.I.	0.0	-7.0	-3.4	-1.8	-0.9	-1.0	-4.7	-2.8	2.4	-2.9	-2.9	-3.1	0.0	2.1		



- (1) 全産業の製品在庫水準「不足－過剰」D.I.は、26年4～6月期は▲2.9となり、前期比0.3ポイント改善となった。在庫は25年10～12月期より過剰の回答となっている。製品在庫は、先行きについては、改善の予想である。
- (2) 業種別では、製造業のD.I.は▲2.7となり、前期比0.8ポイント改善となった。反対に、非製造業は0.2ポイントと悪化となった。  
先行きについては、製造業は、在庫過剰の予想であるが、非製造業は、在庫不足となる予想となっている

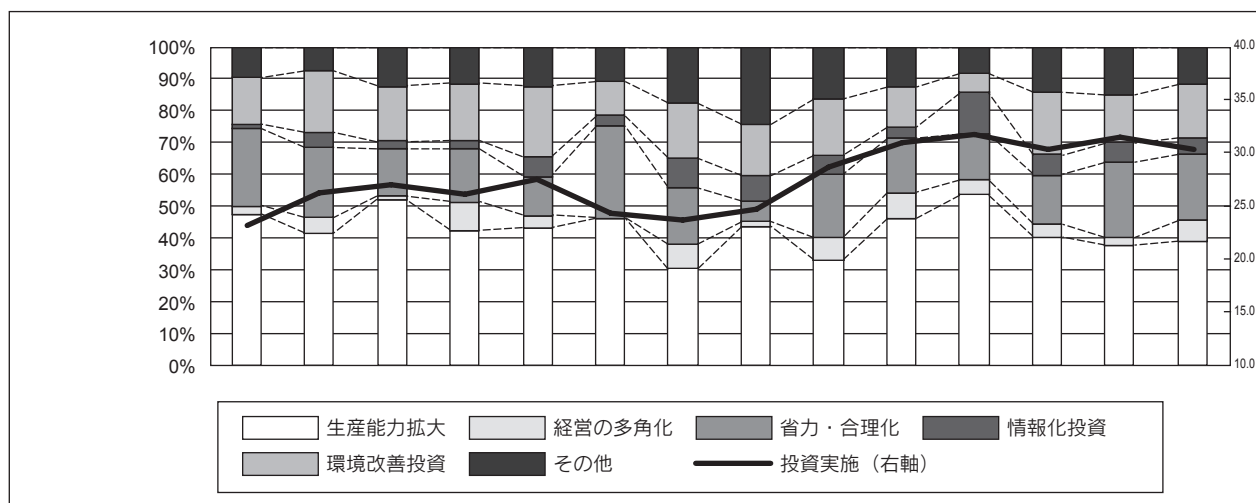
## VI. 設備投資動向

設備投資の有無

期別 種別	(%) 見込 予測													
	23 年		24 年				25 年				26 年			
	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月
投資実施	23.2	26.3	27.0	26.2	27.6	24.4	23.7	24.7	28.7	31.0	30.3	30.3	31.5	30.3
投資せず	76.8	73.7	73.0	73.8	72.4	75.6	76.3	75.3	71.3	69.0	69.7	69.7	68.5	69.7

設備投資の目的 (実施先について)

	(%)													
生産能力拡大	47.3	41.5	51.9	42.3	43.2	46.2	30.2	39.1	32.9	46.0	40.3	40.3	37.5	39.0
経営の多角化	2.7	4.9	1.2	9.0	3.7	0.0	7.9	1.4	7.1	8.0	3.9	3.9	2.5	6.5
省力・合理化	24.3	22.0	14.8	16.7	12.3	29.2	17.5	5.9	20.0	17.2	15.6	15.6	23.8	20.8
情報化投資	1.4	4.9	2.5	2.6	6.2	3.1	9.5	7.2	5.9	3.4	6.5	6.5	6.3	5.2
環境改善投資	14.9	19.5	17.3	17.9	22.2	10.8	17.5	14.5	17.6	12.6	19.5	19.5	15.0	16.9
その他	9.5	7.3	12.3	11.5	12.3	10.8	17.5	21.7	16.5	12.6	14.3	14.3	15.0	11.7



- (1) 今回調査では、設備投資を実施した企業は全産業の30.3%と、前期比1.5ポイント減少した。先行きの、26年7～9月では31.5%、10～12月では30.3%の企業が設備実施見込となっており、30%以上の企業が設備投資を行う状況となってきた。

実施の目的別では、「生産能力拡大」とするポイントが依然高いが「環境改善投資」とするポイントが前期比大幅増加した。

- (2) 業種別で、設備投資実施割合の高いのは、製造業では「プラスチック」「医薬品製造」「アルミ製品製造」となっている。

非製造業では、「鋼材建材販売」「機械工具販売」が設備投資を行った企業が多い。先行きについては、「医薬品製造」「電子部品製造」の設備投資予定は高いポイントとなっている。

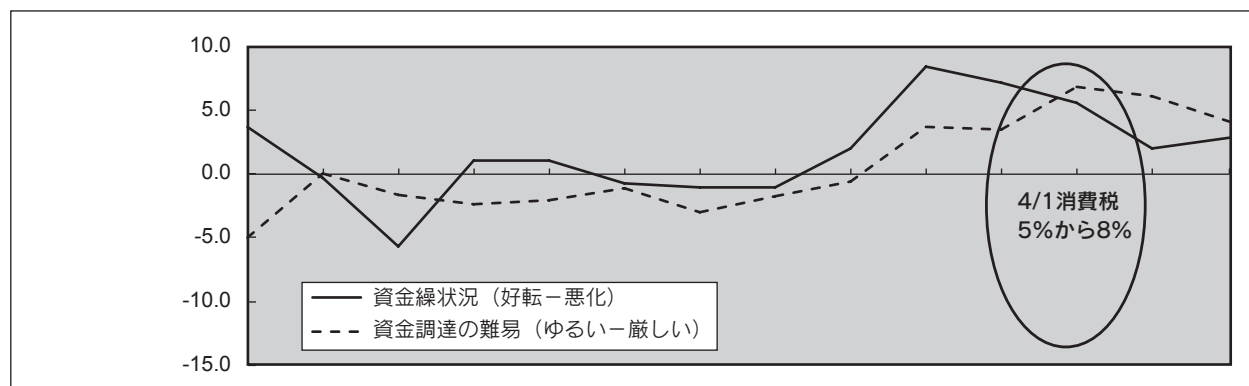


## VII. 資金繰り状況

資金繰り状況（好転－悪化）

(%) 見込 予測

種別	23 年		24 年				25 年				26 年			
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
好転	10.0	9.9	7.0	11.8	10.9	9.5	8.6	10.1	8.8	13.9	14.1	10.4	8.8	7.2
変わらず	83.8	79.8	80.3	77.4	79.3	80.3	81.6	78.8	84.4	80.8	79.1	84.9	84.5	88.4
悪化	6.2	10.3	12.7	10.8	9.9	10.2	9.8	11.2	6.8	5.3	6.8	4.8	6.8	4.4
D . I .	3.7	-0.3	-5.7	1.0	1.0	-0.8	-1.1	-1.1	2.0	8.5	7.2	5.6	2.0	2.8



資金調達の難易（ゆるい－厳しい）

(%) 見込 予測

種別	23 年		24 年				25 年				26 年			
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
ゆるい	10.1	12.6	12.5	12.3	10.8	11.3	11.7	11.4	11.1	14.8	14.3	14.6	15.1	13.4
厳しくない	74.8	74.8	73.3	73.0	76.3	76.3	73.4	75.3	77.1	74.2	74.8	77.7	75.9	77.2
厳しい	15.1	12.6	14.2	14.7	12.9	12.5	14.8	13.3	11.8	11.1	10.9	7.7	9.0	9.3
D . I .	-5.0	0.0	-1.7	-2.5	-2.1	-1.2	-3.1	-1.8	-0.7	3.7	3.5	6.9	6.1	4.1

(1) 資金繰り状況D.I.「好転－悪化」実績は、5.6と前期比悪化となった。

資金繰り状況のポイントは、好転が高く資金繰りは安定しているが、ポイントは低下してきた。先行きについても、D.I.は今期より更に悪化予想となっている。

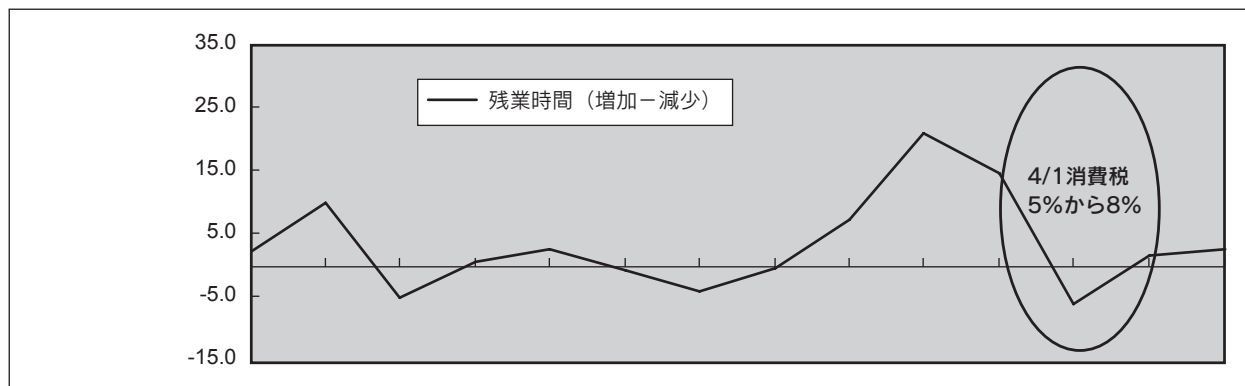
(2) 資金調達の難易D.I.「ゆるい－厳しい」では、6.9となり、前期より改善している。調達は、厳しくない状況であった。

先行きについて、D.I.は減少する予想であり、徐々に厳しくなるとみている。厳しいとのポイントが高い主な業種は、「宿泊業」「繊維」となっている。

## VIII. 労務事情

残業時間

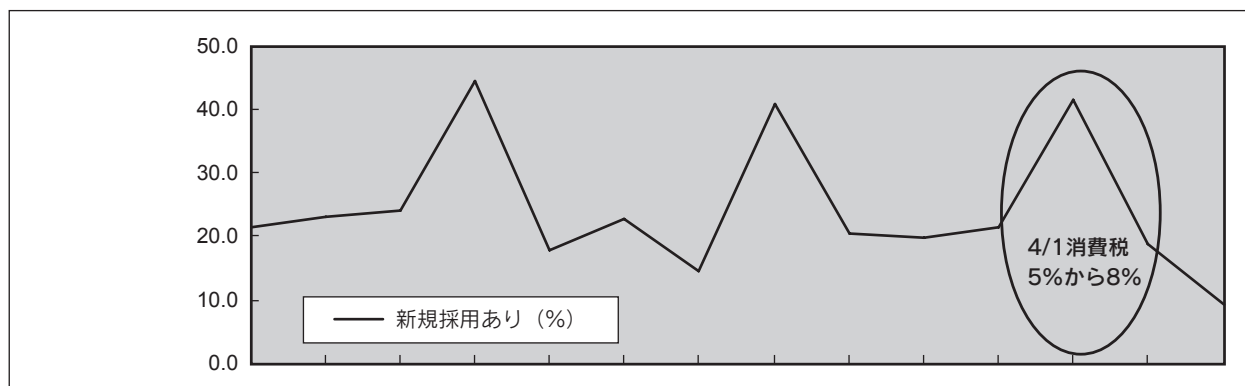
		(%)												見込	予測	
期別 種別	23 年		24 年				25 年				26 年					
	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月		
増加	16.9	20.1	14.8	12.7	13.3	12.7	12.0	13.3	15.4	26.3	23.6	8.8	9.7	8.4		
横ばい	68.5	69.7	65.5	75.4	76.0	73.7	71.8	73.0	76.6	68.6	67.5	76.8	82.4	85.8		
減少	14.6	10.2	19.7	11.9	10.6	13.6	16.2	13.7	8.1	5.1	8.9	14.5	7.9	5.8		
D.I.	2.4	9.9	-4.9	0.8	2.7	-0.8	-4.1	-0.4	7.3	21.2	14.6	-5.7	1.8	2.7		



- (1) 残業時間D.I.は26年4~6月期▲5.7となり、前期比減少した。  
 残業時間は、年末をピークに減少傾向にあり、D.I.もマイナスポイントとなった。  
 先行きについても、増加を予想しておらず、横ばい状態が続くとみている。

新規採用実績(採用あり：%) ※常用・臨時合算

		(%)												見込	予測	
期別 種別	23 年		24 年				25 年				26 年					
	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月		
全産業	21.3	22.9	24.0	44.6	17.7	22.6	14.3	40.9	20.3	19.6	21.2	41.5	18.5	9.4		
(うち製造業)	17.6	18.6	20.0	48.9	17.6	16.1	13.6	40.2	20.0	18.1	23.8	45.5	19.0	5.0		
(うち非製造業)	24.6	26.5	27.1	41.3	17.8	27.9	14.9	41.4	20.5	20.9	19.0	37.9	18.0	13.5		

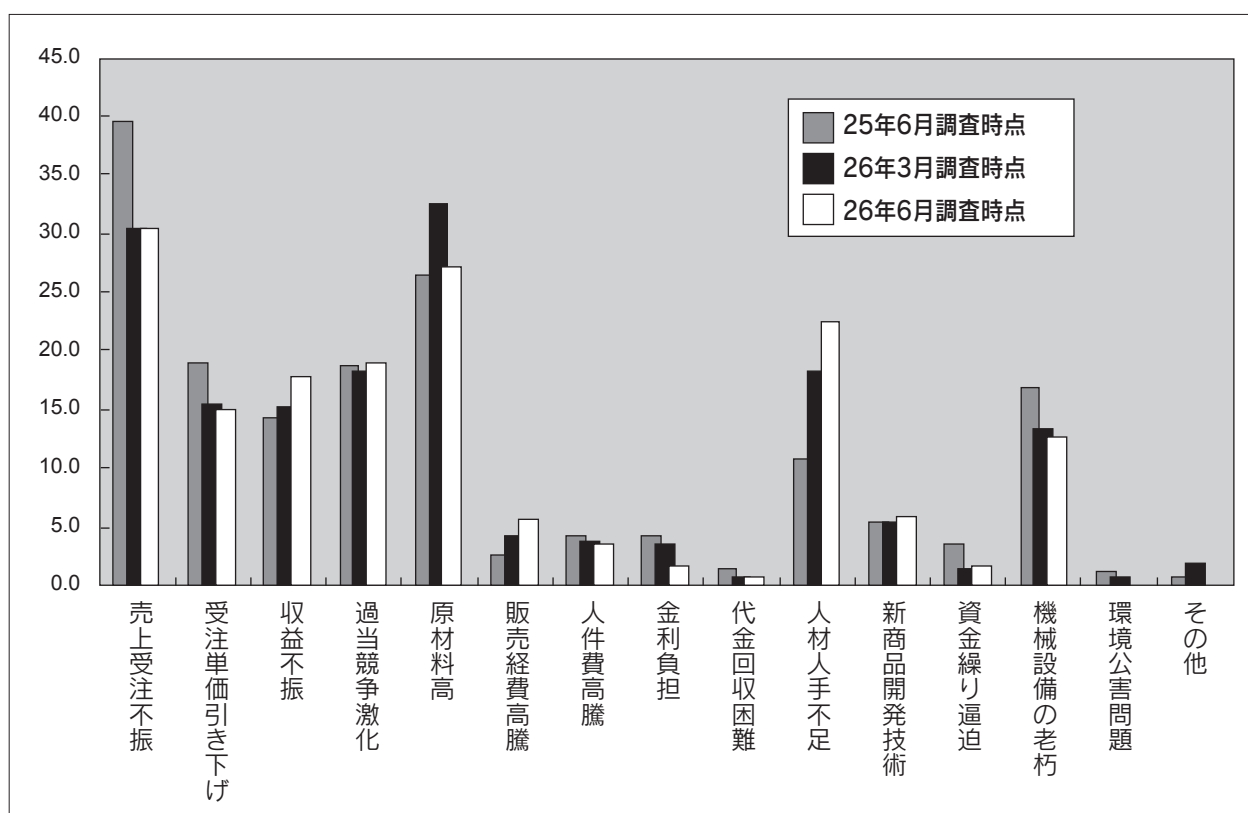


- (2) 新規採用集計は、常用雇用・臨時雇用合算で集計している。集計を見ると、前年同期に比べ、0.6ポイント増加している。製造業では5.3ポイント増加し、採用は増加してきている。先行きについては、例年より採用企業は減少する予想となっている。

## IX. 当面の経営上の問題点

(%：複数回答あり)

	25年6月 (前年同期)	26年3月 (前回)	26年6月 (今回)	前回比増減		
				(うち製造業)	(うち非製造業)	
売上受注不振	39.4	30.3	30.3	(38.8)	(22.6)	0.0
受注単価引き下げ	19.0	15.5	15.0	(18.2)	(12.0)	-0.5
収益不振	14.3	15.2	17.7	(23.1)	(12.8)	2.5
過当競争激化	18.6	18.2	18.9	(9.1)	(27.8)	0.7
原材料高	26.5	32.6	27.2	(28.9)	(25.6)	-5.4
販売経費高騰	2.5	4.2	5.5	(1.7)	(9.0)	1.3
人件費高騰	4.3	3.8	3.5	(4.1)	(3.0)	-0.3
金利負担	4.3	3.4	1.6	(2.5)	(0.8)	-1.8
代金回収困難	1.4	0.8	0.8	(0.8)	(0.8)	0.0
人材人手不足	10.8	18.2	22.4	(14.9)	(29.3)	4.2
新商品開発技術	5.4	5.3	5.9	(9.1)	(3.0)	0.6
資金繰り逼迫	3.6	1.5	1.6	(0.0)	(3.0)	0.1
機械設備の老朽	16.8	13.3	12.6	(15.7)	(9.8)	-0.7
環境公害問題	1.1	0.8	0.0	(0.0)	(0.0)	-0.8
その他	0.7	1.9	0.0	(0.0)	(0.0)	-1.9



- 今回の調査の全産業での当面の経営上の問題点をみると、①売上受注不振30.3%（前期比+0ポイント）、②原材料高27.2%（前期比▲5.4ポイント）③人材人手不足22.4%（前期比+4.2ポイント）の順になっている。
- 今回調査では、売上受注不振を問題点とするポイントが最も高くなった。また、人材人手不足を問題点とするポイントが最も増加した。
- 問題点の売上受注不振で最も高いポイントの業種は、医薬品製造であった。人材人手不足を問題点としたのは、医療福祉となっている。原材料高のポイントは前期比減少したが、全体としてまだ高く、プラスチック製造業が最も高いポイントとなっている。

## X. 平成26年4月からの消費税引き上げの影響

		実績	見込	予測 (%)
項 目		26年4～6月	26年7～9月	26年10～12月
売 上 高	好 転	4.1	6.1	7.3
	悪 化	25.2	15.5	9.8
	影響なし	70.7	78.4	82.9
仕 入 高	好 転	2.0	2.9	3.7
	悪 化	22.4	18.9	16.8
	影響なし	75.5	78.3	79.5
営 業 利 益	好 転	2.8	3.7	5.3
	悪 化	26.0	17.9	13.9
	影響なし	71.1	78.4	80.8

(1) 4月からの消費税引き上げは、回答企業の約30%が売上高に影響があったと回答があった。うち25%は悪化したとの回答であった。

仕入高については、約25%が影響ありとの回答であり、うち22%は悪化したとなっている。

消費税の引上げの影響は、先行き減少予想であるが、10月～12月においてもまだ、約20%の企業が影響があるとの回答となっている。